

科目名	メディアコンテンツ応用	英文表記			2012/3/25
科目コード	5306				
教員名:西村篤 技術職員名:なし					作成
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
メディア情報工学科	5年	選択	学修	2単位	講義
授業期間	前期				
科目目標	(1)メディアコンテンツの社会的応用について理解し、これまでに修得したコンテンツ技術を応用して、作品の企画ができるようになる。 (2)メディアの概念を地域社会にまで拡張し、幅広い視野からメディアコンテンツを考えられるようになる。				
総合評価	(1) 自学自習レポート(9回分) (20%) (2) 授業内課題(サウンドマップ) (10%) (3) 推薦書+映像作品 (30%+30%) (4) 品評会結果 (10%)				
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法	
	①	メディアコンテンツの価値について考えられるようになる。(A3)	⇒	作品とレポートによって評価する。	
	②	メディアコンテンツの社会的応用について理解し、具体的に作品の企画を考えられるようになる。	⇒	作品とレポートによって評価する。	
	③		⇒		
			⇒		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称
	○	○	○	○	メディア情報工学
	JABEEプログラム教育目標				A-3
授業概要、方針、履修上の注意	【授業概要】メディアコンテンツが、特定の媒体に特化したデータではなく、社会の中で果たし得る機能を持った意味の世界であることを学びます。視野を広げ、複数の新しい観点から物事を見ることができるようになることを目指します。【授業方針】前半はメディアコンテンツの社会的応用、特に地域とメディアコンテンツとの関連についての事例について「風景デザイン」という視点を導入しつつ講義形式で学習する。後半は、受講生が作品の企画とプレゼンテーションを行います。【履修上の注意】この授業では問題を個人的な問題と結び付け、自ら感じたり考えたりすることが重要ですので、主体的な取り組みを心掛けて				
教科書・教材	事前に購入しなければならない教科書はありません。教材としてプリントを適宜配布します。				
<b>授 業 計 画</b>					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		自学自習(予習・復習)内容
1	ガイダンス	2	授業概要・評価方法について説明する。		
2	風景デザイン(1)	2	関連する学説および事例の紹介		
3	風景デザイン(2)	2	関連する学説および事例の紹介		
4	地域社会とメディアコンテ(1)	2	関連する学説および事例の紹介		
5	地域社会とメディアコンテ(2)	2	関連する学説および事例の紹介		
6	事例研究(1)	2	ドキュメンタリー作品の研究		
7	事例研究(2)	2	ドキュメンタリー作品の研究		
8	作品企画についての説明	2	作品の企画と発表の進め方について説明する。		
9	作品企画と発表の準備(1)	2	企画と発表の準備を行う。授業内では主に発表用のメディア制作を行い、調査は自学自習の内容とする。		
10	作品企画と発表の準備(2)	2			
11	作品企画と発表の準備(3)	2			
12	プレゼンテーション(1)	2	企画の発表を行う。資料は事前にすべて提出する。		
13	プレゼンテーション(2)	2			
14	プレゼンテーション(3)	2			
15	総括	2	全体のまとめを行う。		
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)					標準的所用時間(試行)
①	授業で学んだことを復習するとともに、自分の考えをまとめて、レポートを提出する。				60分×9回

② 企画・発表準備	120分×3回
③	
備考欄	

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)